

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和元年7月11日(木) 10:40～12:10
 場所 島根県立緑が丘養護学校
 対象 中学部生徒7名、
 指導者 教員6名
 埋蔵文化財センター職員1名

1. 主題 古代の人々の生活に触れよう～鏡・まが玉作りに挑戦～

2. ねらい

○金属鏡・まが玉作りの体験を通して、古代の人々の技術や知恵について理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
10:40 (5分)	今日の学習の流れを確認しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の紹介をする。 ・学習の内容やねらいを説明する。 	教科担当
10:45 (10分)	古代の鏡と勾玉について知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・古代の道具について知る ・鏡と勾玉は何に使われたのか、どうやって作ったのか、を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が出土品などを使って、生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。 	職員
10:55 (60分)	金属鏡・まが玉づくり <ul style="list-style-type: none"> ・道具と作業手順の説明 ・どちらを製作するか選ぶ ・製作する <p><体験の時間を利用して> ★出土品の土器・石器・木器を見学する 【休憩】11:25～11:30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が作り方について説明する。 ・安全面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。 	職員 教科担当
12:00 (10分)	まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・片づけ 		職員 教科担当

4. 準備物

(学校・生徒) 雑巾、新聞紙、筆記用具、軍手、タオル、バケツ
 (埋文センター) 学習資料、アンケート用紙、
 鏡の鋳型(3セット)、コンロ(同)、鍋(同)・・・3セット、
 鏡製作セット(低融点金属、布、研磨剤、粘土板、サンドペーパー)・・・10セット
 勾玉製作セット(滑石、サンドペーパー3種、紐)、ブロック・・・10セット